

未来
ストーリー
1

おじいちゃん、カッコイイ！

キーワード1 健やか

1 ぼくのおじいちゃん
は、市内で航空機を造る
エンジニアをしてんだ。
定年制度がなくなった
おかげで、まだまだ現役！
若い人に技術を伝承して
るんだって。この前、足を骨
折したときに、介護支援スーツを着た女の人がお
じいちゃんを、ヒョイっと持ち上げたのを見て、これ
だ！ってひらめいたんだって。



ぼく



2 会社の人たちはもち
ろん、介護職や医療関係
者、ICT産業に市役所、い
ろんな業種の人と知恵を
出し合って運動用のロボッ
トスーツを開発したんだ。
このスーツは激しい運動
でも大丈夫だって自慢して
たよ。医療機関とも連携
して、体のいろんな具合を自動的に送るシステムも
作って、運動中の体の異変も見逃さないんだって。め
んな安心して運動できるおかげで、いつまでも元氣
で健康寿命がどんどん延びているらしいよ。



3 この間なんて、
早速、そのスーツを着
て、総合体育館で開か
れたバスケットボール
の世界シニア大会に参
加したんだ。一宮市で
は、昔からスポーツの世
界大会を誘致してたから実現したらしいんだけ
ど、ホームグラウンドだから絶対に優勝する
ぞ〜！って言ってた。

当日のおじいちゃんは本当に絶好調で、体の大き
な相手のディフェンスをかちめて、ダンクシュート
を10本も決めてた！ もちろん結果は優勝！ 超かっ
こイー！！

4 解説に来て
たNBAの選手の「ブ
ラボー！」の声から
起きた、スタンディ
ングオベーションのな
か、おじいちゃんたち
が世界の選手や運営
ボランティアの人たちとヒがっちり握手する姿を見て、
ぼく、感動して涙が出てきちゃったよ。

ストーリー1
関連施策

Plan	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
Management	1	2	3	4	5	6	7							

注：数字は施策番号を表し、白抜きの数字がストーリーの
関連施策になります。

未来
ストーリー
2

自然もいっぱい、暮らしやすい！

キーワード2 快適



お母さん

1 今日は福岡の
いとこが突然遊びに
来てびっくした。

いとこの子が飛行機
が好きだから、みんな
を138タワーパークか
ら木曽川尾西緑地への
遊覧飛行に連れて行
くことにした。最近、木曽川は、ミズベリングプ
ロジェクトで、全長18キロにわたりセーリング、
キャンプ、芝居、カフェやバーベキューなどにぎや
かだ。夜は橋がライトアップされ、川を見下ろ
しながら木曽川のおいしい水で造った地酒も
飲める。



2

モーニングを楽し
んでから、バスで光明寺公
園に向かった。駅からの公
共交通ネットワークで、移
動に困ることはない。バス
に乗ると、お父さんが「バスが無人で動くななんて、子どもの
とき、光明寺公園で自動走行の実証実験を見たのが懐かし
いなぁ」とつぶやいた。「車も歩行者も自転車も安全で走り
やすい道路整備がされてお。しかも、この路面にはセン
サーが入っていて、今では、市内での交通死亡事故は皆無
だ。信号機や道路標識にも…」って子どもたちに熱弁をふる
っていた。



3

今日は快晴。この辺りは濃尾平
野というだけあって、遠くまでよく
見える。高速道路や幹線道路が、
スパンと延びてて川みたい。そん
な物流の良さを売りに企業を誘致
して、市の財政も豊かになったん
だって。



4

いとこが「なんでUターンする
ことにしたの？」って聞いてきた。「こんな
に、名古屋や東京まで出やすいのに、自然
も豊かなまちって、ほかにはないって気付
いてお。でも、それだけじゃなくて、一宮
市は、保育園も放課後児童クラブも待機はないし、女性が働きやす
い環境が整ってる。だから、合計特殊出生率もV字回復したって聞
いたお。私は在宅勤務だけど、東京の部下とはテレビ会議できるし、
いざとなったらリニアを使いば50分だからお。それで、一宮市に住む
ことにしたんだ。あなたも引っ越す予定なの？」って聞いたたら、考え中
なんだって。



いとこは、萩原の子ンドン祭りを見てから、マルシェで地場野菜や
鮎の一夜干しを買い込んで、満足そうに帰っていった。案外、本当に一
宮市に引っ越して来たりしてお。

ストーリー2
関連施策

Plan	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
Management	1	2	3	4	5	6	7							

未来
ストーリー
3

このまちで、生きていく！

キーワード3 安全・安心

お姉ちゃん



1 今日は総合防災訓練の日。地震・火事・水害の避難訓練に避難所体験と、いろんなことを経験しておく、年に一度の大掛かりな訓練だったよ。

朝9時に地震発生という想定で、まちなかのモニター、各家庭のテレビ・パソコンの画面に訓練用の震災画面が一斉に映し出されたの。それと同時に、市役所から一斉配信されたAR(拡張現実)のアプリを使うとリアリティーが増すんだ。いつか来ると言われている南海トラフ巨大地震に備え、うちも自宅の耐震補強や備蓄はしっかり用意しているよ。

公共施設、道路、上水道、下水道、電気、ガスは、長寿命化工事や耐震工事のおかげで、震度7とかの大きな地震にも大丈夫みたい。ライフラインの点検には地域の人も同行し、「おーい、問題ないぞー」と言うのを聞いて、安心して帰ってきたよ。



2 私は障害者や高齢者の方の避難の手助けをする班だったの。でも、日頃から地域で見守っているの、いつもどおりのことをするだけなんだけどね。傾いた家の中で、おばあさんがうずくまっているという想定で救急車に来てもらったの。すると、駆けつけて来た女性は、以前、父が救急搬送されたときにお世話になった黒田さんだったわ。あのときの黒田さんの迅速な対応はとても頼りがいがあって、「大丈夫ですよ」という笑顔に私の心も救われたことを思い出した。そのときから、私は、黒田さんのような救急救命士になりたいと思うようになった。



3 私は、たくさんの温かい人に囲まれて育ったなあって思う。学校の先生、たくさんの友だち、いつも通学路で見守りしてくれていた方、地域の交流の場で話を聞いてくれたお兄さん。

一宮市は、生まれ育ったひいき目じゃなく、全国に自慢できる温かいまちだと思う。お母さんに聞いたけれど、一宮市は、全国でも犯罪発生率が低い都市らしい。AI(人工知能)やIoTを活用した防犯装置を導入していて、しかも地域コミュニティも一致団結しているおかげなんじゃないかな。

私は、大好きなこのまちの人たちの安心のために働きたい。ずっと、ずっとこのまちで生きていきたいわ。

ストーリー3
関連施策

Plan	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
Management	1	2	3	4	5	6	7							